

ピラミ/Book

今月のテーマ：『おおきさ』

おおきさ
くらべ！

美容室ごっこを
楽しんで、長い、
短いを感じたよ！



全身を使って、
大きい小さい
を感じたよ！



ぞう組：おおきい ちいさい

きりん組：おおきさくらべ ながさくらべ

らいおん組：みのまわりのものの
おおきさとおもさ

年間テーマ活動

	テーマ	発達領域
4月	受け入れ	個人の発達
5月	からだ	空間の理解
6月	大きさ	考える事の発達
7, 8月	水	知覚の発達
9月	色と形	考える事の発達
10月	秋	言葉の発達
11月	交通	言葉の発達
12, 1月	数える	考える事の発達
2月	衣服	考える事の発達
3月	春	時間の理解

「大きさ」のプロジェクトは、「大きいー小さい」だけでなく、「太いー細い」「長いー短い」「高いー低い」「広いー狭い」という概念を使ってまわりの世界を系統立てる事によって、私たちは物事の整理をしたり、順序づけたりしています。この物事の整理や順序立てる力は人としての基本的な能力です。

子ども達は遊びの中で順番に物を並べたりしようとする自発性を持っています。様々な素材や題材を使って分かりやすく大きさの概念を示す事で子ども達は楽しみながら考える力や算数を学ぶ為の準備となる能力を発達させる事が出来ます。

また、ぞう組、きりん組、らいおん組と3クラスの成長に合わせて徐々に「大きさ」のレベルの段階を上げながら能力を付けてほしいと思っています。

ぞう組

テーマ: おおきさ



1. なんだろう？

(方向づけ)

ちいさな ねずみ
おおきな ぞう

ぞう組の入り口にはマスコットのなぞうさんがいます。

ここに新しいお友だちがやってきました。それは【ちいさい】ねずみくんです。紹介するとさっそく「ちいちゃいー」「かわいいー」と聞こえてきます。ぞうくんと並べるとその大きさの違いがはっきり分かる子どもたち「ぞうさんの方がおおきいな！」と大きさを見比べていました。

別の日は風船を膨らませて大きさを感しました。

大きくなっていく風船を近づけられると「おおきいー」「きゃー」と楽しそうにはじいていました。

大きな風船に「でかすぎるー」「そっちはちっちゃいなー」と指差ししていました。それから、Bブロックや粘土では「ちっちゃいでしょ」「ながいでー」と大きさを表す言葉をよく聞くようになりました。



ちっちゃーい



おっっきー～！



2. みてみよう

(見本を見せる)



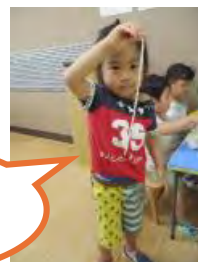
こっちがぞうさんの家かな？

えー入れてないやんー！

ちっさすぎるー



しっぽ長い！



みてー、
ながいでー

ぞうとねずみに家を用意しました。「どっちがねずみくんの家だと思う？」と聞くと「ちいさいほう、そうには小さすぎる！」「ねずみにはそっちおおきすぎる！」とちょうどいい大きさを感じている子どもたち。「こっちかな？」と小さい家にぞうを入れたり、やり取りをしたあと、それぞれのちょうどいい家に入れてあげると、左側の子どもたちから、大きくて小さいのが隠れてしまっていて「ねずみくんの家見えない！」右側の子どもたちから「見えるで！」と声が聞こえてきたり、「ねずみのしっぽ長くて家からでてる」と部位によってはぞうより長いことに気づいたり色々な発見があったようです。



3. どうしてそうなるの？ (理解を広げる)

ちいさいもの・・・
ちいさいもの・・・

風船をもう1つ増やしました。見比べると尋ねる前に「中くらいや」と声が出て、【これより大きい、これより小さい】中くらいが出て来てました。大きさ比べもますます楽しくなって部屋の「これより大きい（小さい）の持ってきて」と声を掛けると思いおもいに持ってくる子どもたち。ドキドキした様子の子もいれば、これだ！と思うものを自信満々に持ってきていました。「おおきいね、ちいさいね。」と見比べて楽しみました。



ほくのリュック
の方が大きい！

こっちのイチゴ、おおきい！



4. もっとしりたい (理解を深める)

色んなところで【大きさ】を口にしてしていると、子ども達からも「この水たまり大きい」「さっきより小さい」「あ、ここせまくなってる」「めっちゃちっちゃいダンゴムシおった」「この虫ダンゴムシより大きい」「大きいチョウきた！！」「このきゅうりちっちゃー」「はやくこーんなおおきくならんかなー」とたくさんの【おおきさ】に出会いました。

着替えの話で先生が子どもの服を着ようとするとう首が通らず、「ちいさいからや！」「おおきいのじゃないと～」と楽しそうに笑う子どもたち。先生の服で紹介しなおすと「ぴったり！」の声の中で「服、大きい！」の声もあったのでお友だちにも来てもらいました「ぶかぶか～」とまたもケラケラ楽しんでいました。コーナーではすっぽり入って「おおきすぎー」と、嬉しそうに着て楽しんでいました。

比べっこで楽しんでいると「それ（一番大きい風船）より大きい持ってきて！」とお願いされたので、用意しました！

前回同様に自分より大きいのが迫ってくると楽しいようです。並べると「むっちゃ大きい！！」と手を広げて、喜んでいました。順序の面ではお手軽に触れるマトリョーシカを用意し、並べたり比べたり、お話しさせ合ったりと楽しんでいます。



大きさを比べる中で、大きい＝長い、太い、高い、広いなど経験や見方によって変わってきます。これは紙面ではピンとこないものです。日々の生活の中でこういった違いを大人からしつこくない程度に声をかけていき体験していけるといいですね。例えば、長い髪の人に大きい髪と言ったら「そうだね、長い髪だね」などと否定や訂正せずにさりげなく正しい言葉を伝えてあげるといいそうです。同じように数や方向、オノマトペ（ザラザラやペタペタなど）と感覚など、のびはじめの幼児期にたくさん言葉や動きを体験、経験できたらと思います。

きりん組

テーマ：大きさ

なんだろう？
(方向づけ)



・6月は「大きさ」がテーマなので、そう組でしたことを思い出しながら話しをしました。様々な大きさのペットボトルを見て、「どんな大きさかな？」と聞くと「大きい・中くらい・小さい」という言葉が出てきましたよ。

大きさが分かったので、次はお部屋の中で『大きいペットボトルより大きい物』『小さいペットボトルより小さい物』をみんなで探してみると…自分達でよく考えてシルバニアを持ってきたり、プリズモを見つけた！と披露してくれるお友達の姿が見られました！



これはきっと
大きいはず！



100センチよりちょっと
大きいお友達や手を横に
広げると「100センチや」
と大発見をしていました！



子どもの興味をもてそうな“100”
をピックアップして、身近な100
センチの物を紹介しました！カピバ
ラ・車の信号機が100センチと知
り驚いていました！



みてみよう
(見本を見せる)



「髪ちょきちょきしますねー」
と美容師さんとお客さんにな
りきって長い髪を切ってあげ
たり、人形の髪の毛を整えてあ
げて美容院ごっこを楽しんで
いました！

・先生の友だちの人形を使ってサークルタイムで話しをしました。みんなの前で人形を見せると…
「え？顔見えないよ」「髪の毛が長すぎる」
『みんなは髪の毛が長くなったらどうするの？』
「髪の毛切手もらう」「髪切るお店に行く」と話しが出たので美容師さんに変身して髪を切りました。
すると「目が見えた！」「かわいくなったね」と短くなった髪の毛をみんな喜んでいました。



**どうしてそうなるの？
(理解を広げる)**



・園外に行き、みんなで『大きい小さい・長い短い』を探しに行きました。
歩道橋から見おろしてみると「この駐車場大きい」「道路長いね。ずっとマンションの方までいってる」「信号機大きい！100センチあるかな？」とたくさんの新たな発見を見つけていましたよ！「歩道橋100センチより大きいんじゃない？」という声から、紐を使って測ってみると・・・
2700センチでした！「長い！！」と驚く子が多かったです。



「あそこの横断歩道長そう」
みんなで横断歩道も歩きました！



「さっきの階段は39やった。こっちは長いかな？短いかな？」

「〇〇ちゃん向こう引っ張って！」
「100・200・・・
まだまだ長いなあ」



**もっとしいたい
(理解を深める)**

長い糸を使って作った提灯



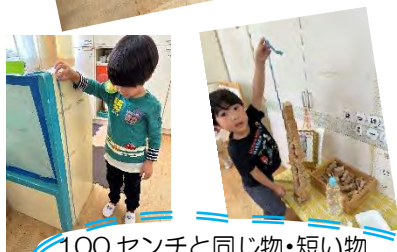
みんなの手の大きさ比べ



《長い短い輪っか繋ぎ》



・100センチの紐をもって「これはどんなくらいかな？」と測ってみました！「これは100センチと同じくらいだったよ」「100センチより机は大きいかな！」と“測る”ということを楽しんでいましたよ！
・大きさのプロジェクトを通して「〇〇ちゃん100センチ言ってる？」「(誕生日会で身長や体重も発表していくと) えーめっちゃ大きいやん」「(マグフォーマーで遊びながら) 長い電車できたよ！」等と友だちと関わりながら自然と長い・短いということに親しんでいました。



100センチと同じ物・短い物

らいおん組 【テーマ 大きさ(考える事の発達)】

なんだろう？
(方向づけ)

今月のテーマ活動は、「大きさ」です。そう組、きりん組と経験してきた「大きさ」を振り返りながら次のステップへと順番に進みますよ！

おおきい ちいさい ちょうどいい



サークルタイムで大きさの違う洋服を見せると「着たい！」と積極的な子どもたち。大きいシャツを着ると嬉しそうにポーズをとったり、ワンピースみたいと言う声もありました。大きいズボンは立って着られずー苦労！！結局座ってお友達に手伝ってもらいました。



「じゃあ、これは着れるかな」と80センチの服を見せると「きれる！！」。といったものの、実際に着ようとする、中々上手く着れません。「きつい〜」。「(ズボンの後ろが上がりなくて) なんかへんなかんじ」といいながら苦笑い。「じゃあ、これは？」と100センチの服を着ると、ほっとした表情で「ちょうどいいわ」とポーズをとっていましたよ。

着用した服を脱ぐ時に80センチのシャツが頭でひっかって悪戦苦闘！！やっと脱げたとたんお友達と顔を見合わせてケラケラ笑いだす子ども達でした。

みてみよう
(見本を見せる)

ながい(たかい) みじかい(ひくい)



魔法のひもを使って背の高さを測ってみました。ひもの長さを比べてみると「〇〇ちゃんのほうがながい」事に気づき、「これって本当なのかな？」「じゃあ、せいくらべしてみたらいいやん」の意見があり、早速、背比べをしてみるとひもが長いお友達の方が背が高い事がわかりました。そうなる、と好奇心旺盛ならいおん組さんは自分もやってみたい！！となり、全員の身長を測って魔法のひもと背比べをして楽しみました。



子ども達から「背が高い」はよく聞かれたのですが「低い」は聞かれなかった、ので、「ひもが長い」は背が高いだったけど、「短い」はなんて言うか知ってる？と聞いてみるとしばらく考えていた子ども達から「ひくい」の声が聞かれました。



どうしてそうなるの？ (理解を広げる)

生活の中で「重い」を使っている場面はよくみかけますが、「軽い」を使っている場面はあまり見かけた事がないので、こんな事を投げ掛けてみました。

おもい からい

はい。
わたしもつ

うわあ！
おもいけどもてるよ！

この間行った遠足で先生が持ってたリュックを持ってきたんだけど、荷物が沢山入っていてすごく重いんだ。どれくらい重いが持ってみたい人いる？



次に中身の空っぽの
小さなリュックを背負
ってもらいました。

じゃあ、こっちの
リュックはどう？



たくさん荷物が入った大きなリュックを背
負いながら重そうにしています。

うわっ、
かるう～！

子ども達に問いかけました。ペットボトルを見せて「1本と2本どっちが重い？」「こっち（2本）」。

次に同じ大きさのかばんの中に先生がペットボトルを入れて見せます。片方は4本でもう片方には6本入っています。何本入れているのかちゃんと見ていた子どもたちはすかさず「こっち（6本）」と答えます。実際に持ってもらいどっちが重いが聞いてみると「こっち（4本）」「なんでだろう」「もういちど数えてみよう」「あれ？そっちのペットボトルに水が入ってる。」「だからおもいんや」とからくり気づいた子ども達でした。

「じゃあ、どっちが重い？」「こっち（4本）」「じゃあ、こっちは？」「かるい！」



どっちが
おもいでしょ
う！！

もっとしいたい (理解を深める)

おおきい(ちかい) ちいさい(とおい)

「大きさ」をテーマに様々な「大きい、小さい」に触れました。

遠足で楽しかった話をしながらバスや大型遊具の遠くから写した写真を見せると「なんかちっちゃい」「ほんまはめっちゃおおきかったで」。大きかったのに何でこんなに小さいのかなと問いかけると「写真やから」「遠くにあるからや」「ちかくにいったらめっちゃおおきいねんで」と答えてくれました。遊具に少しずつ近づきながら撮った写真を見せると「どんどんおおきくなる～」「ぎゃくにこっちからやったらちいさくなるで」と子ども同士で色々話していましたよ。



吹き絵では、息を思い切り吹いたり軽く吹いてみたり、吹く強さをコントロールして描いて「おおきいのできた」「ちっさすぎるで」と楽しそうな声が聞かれたり、シャボン玉あそびではゆっくり息を吹き入れて作ったシャボン玉を「みて！おおきのできた」と伝えてくれる姿がありました。

